

# 令和7年度 学校関係者評価報告書

令和8年3月19日

学校法人光明学園

認定こども園 月かげ幼稚園

## 1、教育目標の重点

目標 仏教精神にのっとり、よき社会人としての基礎を育成する。

- 信条（三宝）
- ・私たちは仏様のよい子になります。（仏）  
【慈心不殺】生命尊重の教育を行う＝命、物を大切にする
  - ・私たちは約束を守ります。（法）  
【仏道成就】正しきを見て絶えず進む教育を行う＝学ぼうとする意欲
  - ・私たちはみんな仲良くします。（僧）  
【正業精神】よき社会人をつくる教育を行う＝根気

## 2、本年度重点的に取り組む目標、計画

職員の資質向上のための研修についてより充実を図る。また子どもが主体の保育について全職員が共通認識を持ち日々の保育に当る。

## 3、自己評価の結果と取り組むべき課題

A とてもよい B おおむねよい C どちらともいえない D よくない E 非該当

| 設 問   | A  | B  | C  | D | E  |
|---|----|----|----|---|----|
| ① 指導計画を意識し活動の環境を整えることが出来た。                        | 1  | 20 | 3  | 0 | 8  |
| ② 子どもの思いや言動を参考にして保育室等の環境を考える事が出来た。                | 2  | 18 | 4  | 0 | 8  |
| ③ 環境の構成について先生方の中で積極的に意見交換が出来た。                    | 5  | 15 | 5  | 0 | 7  |
| ④ 異年齢児が自然に触れ合えるような環境構成が出来た。                       | 2  | 15 | 8  | 0 | 7  |
| ⑤ 一人ひとりの子どもをよく観察し見守るように心がけている。                    | 15 | 17 | 0  | 0 | 0  |
| ⑥ 園内研修について職員全体で共有することが出来た。                        | 7  | 19 | 4  | 0 | 2  |
| ⑦ 外部研修会へ参加し資質向上に努めることが出来た。                        | 6  | 8  | 5  | 0 | 13 |
| ⑧ 園児に対する不適切な保育・虐待等を未然に防止し普段から子どもの人格を尊重するよう心掛けている。 | 19 | 11 | 2  | 0 | 0  |
| ⑨ 子どもの主体性を大切にし、保育者一人一人が丁寧なまなざしと共感的な関わりの保育を行っている。  | 15 | 17 | 0  | 0 | 0  |
| ⑩ 継続した育ちを考慮し、乳児部と幼児部の自然な関わりと連携を行うことが出来た。          | 2  | 13 | 15 | 2 | 0  |

### 良かった点

- ・職員間の連携では行事の流れやねらいをみんなで考え、例年よりも新しいことに挑戦出来た。また話し合いの場でも意見が言いやすかった。
- ・主体性を大切にしていける保育を続けてきたことで前年の活動に囚われず、今の子どもに合わせた遊

びや活動を考えて進めていこうとする先生方と保育ができる充実感を感じている。

- ・ドキュメンテーション配信により、より子どもの姿を深いところまで見ようとする目がついてきているように感じる。
- ・行事前に乳児部の先生方からお手伝いをいただいた。手伝ってもらうことで職員みんなで行事に向かうことが出来る。
- ・ホームクラスを担当以外の先生が担ってくれることでドキュメンテーションの作成や保育準備、打ち合わせに充てることができありがたい。
- ・担任同士だけではなくパートの先生方との連携が不可欠であることを考慮し、意見を交換する時間としてクラスミーティングを設けた。
- ・全職員で行った園内研修も有意義な研修だった。
- ・乳児部、幼児部の職員の入れ替えは今後もぜひ継続してもらいたい。戸惑いも新鮮さもあり、学びが多くあった。
- ・乳児部、幼児部の連携についてはだいぶ向上した。
- ・どの先生も使命感をもって仕事についている。

#### 課題点

- ・同じ遊びの継続に重点を置くあまり、年間で新しい遊びが少なかった。
- ・主体性を重んじて保育する中で一人ひとりに見合った「寄り添いとは？」「どこまで寄り添う？」「保育者のかかわりはこれで良かったのか？」など、日々悩むことが多い。
- ・日中の引継ぎやホームの様子の把握
- ・連携不足で保護者の方にご迷惑をかけてしまったこともあり、園全体での連携はまだ必須課題である。
- ・個々の保護者とのコミュニケーションや仕事の効率化の部分では課題がある。
- ・日頃幼児部と連携して交流する保育をやってみようと思っても難しいと感じる部分が多く悩んでいる。
- ・あの遊びに関わりたい、環境を変えたいという思い、遊び、安全管理、活動準備などの観点から人員の確保があればと思う。
- ・様々なことがデジタル化しパソコンを使っている仕事が増えてきているため、効率化のために台数を増やしてほしい。

#### 4 保護者アンケートの結果と取り組むべき課題

アンケート結果 ※別紙

##### 保護者からのご意見

- ・保護者への連絡事項の徹底について
- ・園内への出入り口の施錠について

##### 改善点

まず初めにアンケートにご協力誠にありがとうございました。また自由記述の中で大変暖かいお言葉

をいただきました。職員一同その言葉を励みに今後も子どもたちの成長をしっかりと見守ってまいりたいと思います。

数名の方より保護者への連絡事項の徹底についてご意見を頂戴しました。はいチーズシステムの利用により連絡事項の伝達のスピードは速くなったのですが、内容と職員の認識に相違により混乱を招いてしまったことがあったようです。申し訳ありませんでした。今後は園内、職員間でしっかりと情報を共有したうえで内容について確認し連絡を伝達するよう努めてまいります。またクマ情報、不審者情報なども正確迅速な情報収集に努めてまいります。

また園内への出入り口の安全対策についてもご意見を頂戴しました。山形県内でも学校内への侵入者に関する事案が発生するなど、保護者の皆さまも不安に感じていらっしゃるのではないのでしょうか。園では園内の設備などを取り扱う業者と相談し、来年度幼児部玄関の門扉、乳児部玄関の自動ドアにオートロックを設置する方向で検討中です。近くなりましたら改めて報告させていただきます。

その他にも多数の貴重なご指摘をいただきました。今後職員一同、気持ちを引き締め保育に臨んでまいります。

#### 【学校関係者評価委員（保護者の方々を代表したPTA役員）からのご意見】

##### ○学校評価に関して

- ・先生方の自己評価と保護者アンケートの結果を踏まえ、先生方と個々の保護者のコミュニケーションに課題があると思われる。
- ・連絡帳の代わりに「はいチーズ」のメール機能で書き込むことにハードルが高く感じる。
- ・乳児部と年少・年中の縦のつながりがあればさらに良い。
- ・自己評価設問⑧に関して「C どちらともいえない」との回答が2件見られるが、早急に事実確認と解決をお願いしたい。
- ・環境の面で感染症対策に関して徹底してほしい。
- ・職員の言葉遣いや挨拶について気になるところがある。

##### ○その他

- ・PTA 役員の在り方の再考

##### ○評価できる点

- ・子どもたちが生き生きと園生活を送っている
- ・子どもの主体性、子ども中心の保育に力を入れていることが伝わる。
- ・年長の月山遠足など日常で体験できない活動は続けてほしい。
- ・例年の活動に囚われず新しいことにチャレンジしていることに好感が持てる。